

## 第18回定時株主総会を開催

令和元年6月20日に当会議室において第18回定時株主総会を開催し、平成30年度決算が承認されると共に新役員体制が決定しました。



〈高木会長ご退任〉  
総会終結の時をもって、高木会長が退任されました。長い間ありがとうございました。



退任のあいさつ  
PECでの社長3年間、会長2年間の在任中は多くの関係者の皆様に、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後のPECの更なる発展を祈念します。

### 〈新役員体制および業務分担〉

役職名	氏名	業務分担
代表取締役社長	湊 好 男	
取 締 役	儀 保 稔	技術営業部長
取 締 役	宮 本 朝 一 郎	総務企画部長
取 締 役(新任)	伊 野 波 盛 守	経営管理責任者
取 締 役	成 底 勇 人	(非常勤)
取 締 役	藤 原 義 幸	(非常勤)
監 査 役	小 橋 川 健 二	(非常勤)

### 〈高木会長ご略歴〉

昭和53年	沖縄電力(株) 入社 火力部(現、発電部)に配属
平成11年	同 東京支社 技術課長
平成14年	同 発電部 電源開発室課長
平成16年	同 発電部 牧港火力発電所長
平成20年	同 発電部 吉の浦火力建設所長
平成25年	沖縄プラント工業(株) 常務取締役
平成26年	当社 代表取締役社長
平成29年	当社 代表取締役会長

## 1 平成30年度決算について

### 【収 支】

主力事業のガス供給事業は、期中に8件のお客さまへ供給を開始し、販売数量は29,098t(前期比12.8%増)、お客さま総数は18件となりました。

可倒式風力関連事業は、沖縄電力所有の既設設備7基の保守点検業務に取り組むと共に、トンガ王国向けODA 案件「風力発電システム整備計画」における可倒式風力発電設備の設置工事を本年1月に着工し、工事を進めております。

自家発電システム関連事業は2件の契約が満了し、期末現在の契約件数は6件となりました。

これらの結果、売上高は3,051百万円(前期比45.2%増)と創業以来最高を達成し、経常利益は7百万円となりました。

### 【財 務】

総資産はガス供給設備の新規取得などにより、2,046百万円(前期比12.6%増)と創業以来の最大規模となりました。

### 参考



## 2 今年度の収支見通しについて

お客さまの増加によるガス販売量の拡大の寄与などにより売上高は3,128百万円(前期比2.5%増)となる見通しです。

## 社員紹介

総務企画部 総務課

**前黒島 奈緒**

(まえくろしま なお)

入社日 2015年12月1日



中城村マスコットキャラクター「護佐丸(ごさまる)君」と共に

### Q1. 担当業務について教えてください。

経理および総務業務を行っています。  
経理業務では現金出納や経理システムへの入力、給与計算、決算業務などを担当しています。  
また、総務業務では社会保険の手続きや文書管理・備品管理、会社全般の庶務に関する業務を行っています。

### Q2. 仕事をすすめる上で気をつけていることは何ですか？

決算業務ではスケジュールがタイトで慌てることもありますが、迅速に正確にできるよう心がけています。また分からないことや疑問に思ったことは放っておかず質問し理解できるようにしています。  
経理業務についてもたくさんの方の業務の中、いかに正確に丁寧に行うことを心がけています。

### Q3. 今後の抱負について教えてください。

与えられた仕事をこなすだけでなく、どうしたら効率よく業務ができるか、改善していける所はないかなど自ら積極的に行動していきたいです。  
また経理業務でも業務スキルや会計の知識を深め向上していきたいと思っています。

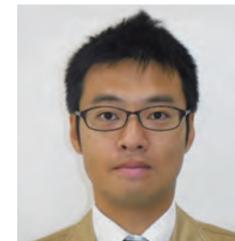
### Q4. 趣味は何ですか？

ライブ鑑賞が趣味です。好きなアーティスト(特にかりゆし58)のライブはできるだけ足を運びストレス発散しています。  
また子どもたちがバスケットボールをやっており、その影響でバスケットの試合観戦も好きになりました。週末は子どもたちの送迎でほとんどつぶれますが、それも楽しんでながらやっています。

## NEW STAFF

### 新入社員紹介

4月19日付で新しいメンバーが加わりました。今後の活躍を期待しています。



**楠木 寿岳**

(くすのき ひさたか)

生年月日 1979年7月  
総務企画部 総務課

■主な国家資格  
・AFP/2級ファイナンシャル  
プランニング技能士  
・社会保険労務士

■趣味  
海外ドラマ鑑賞  
特に韓国ドラマ

### 自己PR

これまで上場企業、ベンチャー企業で働いておりました。いずれも少人数の管理部門で、インプットとアウトプットを同時進行で行うような環境でした。時には指導者不在であったり、インプットの余裕もなく業務を遂行する日々もあつたりしました。その結果、どのような業務へもチャレンジする姿勢と多様性、当事者意識が培われたと思っております。PECの総務は業務が幅広いので、その経験が役立つのを感じています。

### 今後の抱負

まずは早期に担当業務を完全に自立して遂行できるようになること、そして、他2名の総務課員の業務を少しでも多く受け持ち、チームとしての業務遂行速度と精度の向上に寄与することです。

### 編 / 集 / 後 / 記 /

◎新たに竣工した牧港天然ガス供給センターは沖縄電力本店構内にあります。昨年開通した西海岸道路からもLNG貯槽タンクが見えます。まだLNG貯槽設備をご覧になったことがない方は、安全運転でご覧になってください。(H)

◎8月から国内で初めて開催されるラグビーW杯に当社が風車を建設中のトンガも出場します。人口が僅か10万人に過ぎない小国が世界ランク13位(日本は11位)とは驚きです。大の親日国でもある同国の活躍が楽しみです。(M)

## 01 【トピック】

### ガス供給事業開始5年目を迎える

5月1日にガス供給事業開始5年目を迎えることができました。

この間、関係する皆様の多大なご協力により、無事故無災害で事業を実施することができました。また、沖縄ガス様への卸供給に加え、食品工場・商業施設・病院・スポーツ施設等多様な業種のお客さまに販売を拡大しております。

お客さまの増加に伴い、ローリー出荷累計も昨年4月23日には1,000件、本年5月2日には2,000件に達しました。

今後も沖縄のエネルギー環境の向上に向け、役職員一丸となって尽力します。



▲ガス供給事業開始式典(2015年5月1日、沖縄電力 吉の浦火力発電所構内)

左より、高木当社社長、沖電玉城常務、りゅうせき金城社長、沖電大嶺社長、浜田中城村長、池宮沖電副社長、花城りゅうせきロジコム社長(肩書は全て当時)

## 03 【ボランティア活動】

### 中城村春の一斉清掃活動に参加

5月19日(日)に行われた中城村春の一斉清掃活動に当社から6名が参加し、地元泊区公民館の清掃作業を行いました。



▲清掃活動に参加した中城村泊区のみなさん、沖縄電力(株)吉の浦火力発電所所員と一緒に

## 02 【トピック】

### 牧港天然ガス供給センターが竣工

沖縄電力本店構内において設置工事を進めておりました牧港天然ガス供給センターが5月に竣工し、6月より近隣のお客さまである武蔵野沖繩様への供給を開始致しました。

同センターへは、吉の浦火力発電所から、LNGローリー車がLNG(液)の状態を輸送(輸送延長距離約18km)し、供給センターで気化した上でお客さまに天然ガスの状態で埋設した導管(導管延長距離約800m)を通じてお届けします。

これにより当社の天然ガス供給センターはアワセ、州崎とあわせて3カ所となります。



▲牧港天然ガス供給センター(沖縄電力 本店野球場 部室隣)

## 04 【表彰】

### 中城村商工会の通常総会で優良従業員として表彰

5月21日(火)に行われた中城村商工会第42回通常総会において、比屋定課長が優良従業員として表彰されました。



▲左から当社 湊社長 比屋定課長 中城村商工会與那嶺会長

## 現地レポート No.2

### トンガ王国における可倒式風力発電設備設置工事

1月に社員2名が現地入り以降、4月に2名、5月に1名が加わり、6月末の竣工引渡しに向けて工事を推進しています。5月28日より順次試運転を開始し、工事も最終工程に入っています。また、仕事の合間を縫って現地の皆さんとの交流も深めています。

#### << 1基目の風車完成時 >>



▲Vergnet(仏 風車メーカー)、デンロコーポレーション(国内タワー製造会社)、TENP(国内土木会社)、現地作業員の皆さんと共に

#### << 可倒式風車5基立ち上げ風景 >>



▲6月10日より全5基からの発電を開始しました

#### << 地域の皆さんとのバレーボール交流 >>



▲地元の教会のコートを使わせていただき、バレーボールの対抗試合を行いました

#### << 現地中学生による風車見学会 >>



▲6月2日現地の中学生約100名による風車の見学会がありました。トンガ初の風力発電設備に皆さん興味深々と多くの質問がありました

#### 現地出張者の近況報告



知名 俊英さん

初めての海外業務で最初は戸惑いもありましたが、風車ができあがる状況を目の当たりにし、とてもやりがいを感じています。また、現地のトンガ人はとても明るく、日本人に対し気軽に声をかけてくれたので、苦手だった英語も短期間で上達しました。トンガの人々にとっても感謝しています。マロー(トンガ語:ありがとう)



喜瀬 真一郎さん

初めての海外ODAはトラブルの連続。物資の調達や報連相の遅れが命取りになる現場では、JVの方々色々なことを教わりお世話になりました。工事終盤、初めて1基目が立ち上がった瞬間や現地 worker との別れ時は、皆で抱き合って感動の涙の連続。貴重な経験させていただいた全ての関係者とトンガ王国に感謝です。Thank you! Malo!